

◇:平成30年度の取組項目

項目	実施年度					補足	
	H29	H30	H31	H32	H33		
人身被害防止・人里への出没抑制・農業被害の軽減の方策	1 ◇道民に対する注意喚起	・パンフ等による普及啓発 ・出没情報の提供 ・ヒグマ注意特別期間の設定	・パンフ等による普及啓発 ・出没情報の提供 ・ヒグマ注意特別期間の設定				一般の人を対象とした、ヒグマの事故に遭わないための基本的なルールを掲載したリーフレットを広く配布。
	2 ◇山林作業者に対する注意喚起	・出没状況を収集し、関係機関で情報共有	・出没状況を収集し、関係機関で情報共有 ・林業団体に定期配信している情報誌で冬期間の注意喚起を実施				H31以降は、冬期間の出没情報収集を見直し、冬期間における注意喚起の取組のあり方について検討する予定。
	3 出没時の対応方針策定	・出没時及び人身事故発生時の対応方針を策定(H30.3.7)					
	4 ◇人家近くにおける誘引物になる廃棄物等の適正管理の普及啓発	市町村、道が必要に応じて実施	市町村、道が必要に応じて実施				・島牧村、利尻島等において専門家を派遣し、対策会議で助言 ・巡回中、不適切なゴミ管理をしている住民に直接指導
	5 ◇堅果類結実調査結果による注意喚起	秋の実なり状況を調査し、広く注意喚起を実施	秋の実なり状況を調査し、広く注意喚起を実施				堅果類等の結実状況をモニタリングし、ヒグマの人里への出没が極端に増加するおそれについて評価し、一般道民や関係機関に情報提供した。
	6 河畔林等の伐採等による移動経路の遮断	河川管理者、道、市町村等が必要に応じて実施	河川管理者、道、市町村等が必要に応じて実施				島牧村 植車地区民家周辺の草刈り 札幌市 石山地区住民等による豊平川河畔林草刈り
	7 ◇人身事故発生時の対応方針策定及び対応方針に基づく取組	出没時及び人身事故発生時の対応方針を策定(H30.3.7)	人身事故3件発生し、方針に基づき対応(一部の現場で課題)				【課題のあった現場に関して】 ①課題の内容～発生現場周辺市町村への情報提供 ・役場への積極的な情報収集及び再発防止に向けた助言等 ②対応～今回の経過記録の整理。振興局担当者会議において、方針に基づく対応を徹底する旨を指導。
	8 ◇農業被害の防止(電気柵の導入促進・農地周辺の刈払等の促進)	各市町村で実施	各市町村で実施				出没多発している市町村からの相談や会議等を通じて、効果的な手法として積極的な設置等を呼びかけた。
	9 ◇狩猟期間等の見直し	狩猟期間を延長した場合の課題の洗い出し	延長期間における捕獲頭数や捕獲手法の制限についての可否を検討				・延長期間は法第12条の捕獲等の数の制限の導入検討 ・穴狩りを禁止すべき猟法として検討
	10 ◇問題個体数の動向把握	前年度の出没情報を取りまとめ、環境科学研究センターに提出し、問題個体数等を把握	現在、前年度の出没情報を取りまとめ中				鳥獣被害調査3号様式により、出没情報及び被害発生状況の情報収集しており、現在取りまとめ中。
地域個体群存続の方策	11 ◇個体数指数の動向調査	・ヒグマ捕獲票による捕獲情報収集 ・広域痕跡調査の実施	・ヒグマ捕獲票による捕獲情報収集 ・広域痕跡調査の実施(現在取りまとめ中)				・H31は広域痕跡調査を見直し、新たな調査手法を検討する。(H32～H33で効率のよい調査を実施していく予定) ・H31～H33:精度の高い生息数調査を実施予定
	12 ◇捕獲個体試料の分析	捕獲個体の情報を収集し、捕獲の実態を把握するとともに、ヒグマの行動様式の把握などに供した。	捕獲個体の情報を収集し、捕獲の実態を把握するとともに、ヒグマの行動様式の把握などに供した。				回収率の低い振興局では、管内市町村に対し、試料提出の協力を要請。
	13 ◇生息環境調査	堅果類結実調査の実施	堅果類結実調査の実施				堅果類等の結実状況をモニタリングし、ヒグマの人里への出没が極端に増加するおそれについて評価した。
	14 ◇総捕獲数管理	ヒグマ保護管理検討会での意見を踏まえ、各地域で通常措置を実施	検討中				本日の検討会で構成員から意見をいただき、それに基づき振興局に管理措置を通知していく予定。

その他	15	◇地域協議会(振興局単位)の開催	各振興局で開催	各振興局で開催				振興局単位で設置したヒグマ対策連絡協議会で、ヒグマ対策の推進のための情報の共有と、連携強化を図った。
	16	◇地域における被害防除体制の検討	石狩・胆振振興局管内でのモデル協議会の設置に向けた意見交換会を開催。	上川振興局管内にヒグマ広域連携連絡会議の設置				・専門家を交えて役場職員等と出没現場における実態把握等を実施。 ・専門家による危機管理体制に必要な出没対策等の説明会を開催。
	17	◇北海道ヒグマ保護管理検討会	H29.1.24 開催	H30.3.14 開催				ヒグマの生息状況や道の施策について、専門的かつ科学的な評価及び検討を行う。
	18	◇ヒグマ対策技術者育成のための捕獲の実施	・27市町村に許可 ・実人員295名 (うち若手ハンター148名) ・捕獲頭数5頭(雄3 雌2)	・25市町村に許可 ・実人員287名 (うち若手ハンター161名) ・捕獲頭数8頭(雄7 雌1)				捕獲技術熟練者と初心者が一緒に捕獲活動を行うことで、ヒグマ対策に必要な人材を育成し、地域の危機管理体制の充実を図った。
	19	◇狩猟者の確保	出前教室の実施 (9回開催 参加者247名)	出前教室の実施 (6回開催 参加者77名) ※速報値				狩猟免許を取得の促進を図る出前教室の開催を通じて、地域の捕獲の担い手確保の促進。
	20	◇保護管理を担う人材の育成	道環境部局新任基礎研修会の開催	道環境部局新任基礎研修会の開催				振興局職員を対象に、北海道の環境部局新任基礎研修において、野生動物に係るカリキュラムを実施した。 H31は、市町村職員等を対象に「有害性の判断、問題個体の特定、発生要因の除去」などの対応をすべて担う保護管理人材の育成研修会を開催する。
	21	各年度事業実施計画の作成	作成済み	作成済み				平成31年度事業実施計画は資料12のとおり
	22	狩猟資源の有効活用	要検討	要検討				
23	計画の点検・見直し	-	-					